滿洲日報

清曆八月二十八日(ひのと、ゐ)

●新聞代價表 一枚三錢 一ヶ月金六十錢 半ヶ年全三圓四十錢 一ヶ年全六圓五十錢 滿洲各地への配達は郵税一切不申受

●廣告料 五號活字十九字詰一行一回五十錢 特別廣告仝

發行所 營口南本街 滿洲日報社 電話 編輯室一一一 事務室一二九

奉天大東門內 滿洲日報社支局
仝十間房 滿洲日報社出張所
鐵嶺火神廟街 滿洲日報社支局
公主嶺支那町 滿洲日報社出張所
孟家屯驛前 滿洲日報社支局
大連信濃町 滿洲日報社支局
長春城內 滿洲日報社出張所

汽車發着時刻表
線 瓦房店發 大石橋着 遼陽發 蘇家屯着 公主嶺發 孟家屯着 長春發 寬城子着 公主嶺着 鐵嶺發 奉天着 瓦房店 金州 南關嶺 大連着 連 間 旅順發 營城子 南關嶺 臭水子 大連着 上り 下り 奉天 蘇家屯 千金寨 撫順 意

外交官の小更動

滿洲日報

從來政府の官吏を任用する、一に學才を以てし、學校の優等卒業生及び文官試驗の及第者は、官吏としての能者にして、學業成績の優否は直に以て陞進の標準とせらる。然れども試驗場裏の優勝者は必ずしも材幹の士ならず、學識は或程度迄は官吏たるの必要條件なりと雖も、理論家の却て實際に迂なるのみならず、生兵法の時に或は大怪我の基たると之れ無しとせず、予輩は我外交官に於て特に其の最も然るを見る。我外交の未だ大に振はざる、外交官は單に交際官たるに止まり、其任務は寧ろ高等接待掛ともいふべく、少しく外交の典禮に嫻ふ者、乃ち左迄の失態をも暴露せずして能吏の名を全うし得たらんも、今や列國との關係日に複雜し、前後二回の大戰を經て我邦の地位の著しく變化せる以上、折衝禦侮、一に材幹に於てし、學才の士の功名を博すべき場合は極めて僅少と爲れるが如し。殊に領事の職務の如き、其本來よりする、寧ろ商業報告者とするの當れるに似たるに、今は完全なる資格を具へたる外交官として立ち、駐在地在留民の行政統轄より、裁判事務に至る迄、悉く其掌管する所に非ざる無く、終年一商業報告をも爲せると無き領事はあれども、對手國との交渉、在留民の肝煎に營々として忙殺せられざる者殆ど之れ有ると無し。外交官なる職務が、學問一遍にて通らず、人物の之れに伴はざる可らざると、近來に至りて益々緊切を加ふるに至りぬ。

我外務省は此趨勢に鑑みて、大に悟る所あるもの、如く、人才を登庸する、必ずしも學問をのみ標準とせず、又兼て人物にも注意し、成るべく材幹の士を拔擢せんとするの傾向ある、大に喜ぶべしと爲す。憶ふに方今外交官の任務たる、極めて重大にして、大は國家の盛衰存亡より、小は國民利權の消長に至る迄、一に繫りて其人に在り、如何に國民にして剛勇四無く、威力以て世界を壓倒するに足るとも、外交家の力能く國家を脊負ひて立つに足らざる、九仞の功、遂に之を一簣に缺くの憾み無からず。外務の漸く人材登用に意を用ゐんとする、蓋し時勢の趨向に鑑みたる適當の措置なりと謂ふべし。

萩原奉天總領事が近く現職を去らんとするに際し、在清國領事中に補缺的移動を見たると共に、二三者の或は出で或は入りて多少の變動を生ずるに至りぬ。中に就きて其稍ゝ注目に足る者、水野漢口領事の米國大使館一等書記官に轉任せるあり、同領事は必ずしも人物を以て稱すべきに非ざるも事務の才は夙に世人の認むる所。加藤總領事が萩原氏の後を襲げる結果、小幡芝罘領事轉じて天津に赴く、小幡氏は少壯氣鋭、最も豪宕不羈を以て稱せらる、此次天津に代理總領事たる、蓋し異數の拔擢と爲す。加藤總領事の萩原總領事に於ける、外交の手腕に於ては未だ其の伺はれたるを必すべからずと雖も、其性格の相反せる丈け、萩原氏の成功せざりし方面に於て多少の成功を見るとあらんか、而して長春領事分館主任柴田官補の將に英國に赴かんとする、是れ亦人材の爲に一進路の洞開せられたるもの。憶ふに以上數者は學の人たると共に、併せて人物材幹を以て稱せらるゝ者、我外務にして將來人を取る、此意を以てして竟に違ふ無ければ、數年ならずして適材を適處に配置し、從來萎靡の外交をして、刷然面目を一新する、期して待つべしと爲す。

善隣時事

▲兩宮の要政親裁 北京通信に曰ふ兩宮には過日軍機大臣召見の際各軍機に對し近頃議する所の要政は國家の方針に重大なる關係を有するものなれば一々洩るゝ所なく陛下の御覽に呈し若し機密事件の遽に起生するが如きあらば速刻謁見し必ず面奏すべき旨を宣せられたりと兩宮將に萬機を親裁せんとす立憲の基礎數年を俟たずして確立するに至らんか

▲政務處の重要會議 本月一日政務處王大臣等は新に入京せし東三省總督徐世昌及び未だ赴任せざりし趙湖廣總督と朗潤園に會し重要政務を協議せり聞く其協議中東三省交渉事件及び日露日佛英露の各協約に關する件等重要なる議題をも含みたりと

▲端總督と上海電車問題 上海佛國居留地より清國地域內に電車を敷設する問題に關し過日清佛兩國間に交渉を開かれたりしが端總督は現に左の數ヶ條を提供し郵電部に電達して佛國公使と協議を爲さしめたり

一、清國が方濱橋より徐家滙に至る電車鐵道を敷設する事を承認すると

一、此電車鐵道の收入は清國に歸せしむへきこと

一、清國の電車鉄道は佛國居留地內を通過せしむべきこと

一、清國は佛國の電車が永久に清國該地域內を通行する事を許すと

▲京漢鐵道買收の議 北京より漢口に至る鐵道は清國に於て最も重要なる地位を占むる交通機關なるが全く佛國人の手に掌握せられ清國支配權の及ばさる所なるを以て若し一旦事あらば必ず災累を惹起する原因となるべければ速かに清國に於て買收の政策を講せさるべからずとなし目下外務部郵電部度支部の各大臣等相會し買收方法に就て熟議中なりと

▲廣東鐵道總理の確定 郵電部の推薦により前駐米公使梁誠氏は今回廣東鐵道總理に任せられ既に勅命を蒙れりと

一人一話 (三)

本欄に收むる談話は敢て名流名士に限らない、或は身分は紳士紳商でなくとも苟も一藝一能に通じた人達の談話なら大に傾聽すべき價値があらう、隨つて本欄に於て讀者諸彦に紹介するに差支へのない者であらうと信ずる、本欄は此意味を以て新たに設けられたのであるから其心算を以て愛讀を願ひたい(訪問子識)

山川正金專務の金融觀 (其上)

▲金融の前途如何 是れ未知の問題にして何人も明言する能はざる所なるべし、而して又其前途と云ふも遠き前途と近き目先きとによりて自ら其間に相違なきを得ず今此兩者何れか豫想を立て得べきやと云はゞ其豫づ目先の問題なるべし、是れ他なし、其豫想すべき材料の今日に於て自ら見出し得るによればなり而して此方面より我金融の前途を考察する時は、余輩は平穩無事にして所謂順境に向ふものと豫想せんとするものなり何を以て之を言ふか、今其理由を指摘せんに

▲貿易の狀況の寧ろ良好なる機運に向ひつゝあると其一なり本年の貿易は戰時を除くの外に於て類例なき大輸入を見たる爲め輸出の增加せるあるにも拘らず、尚ほ上半季に於て七千万圓の大輸入超過を示し、世人の所謂逆調を呈せり、然るに下半季に入りては輸入に於て敢て減退の狀勢を認めずして輸出入の不權衡は幾分か矯正されつゝあるの傾向あり、是れ畢竟するに其大原因は生絲貿易の未曾有の好況と云ふとに歸すべきが如し、本年の生絲は昨年に比して尚ほ產額增加したりと云ふの事實に之を考ふるも其本年の生絲輸出額の前年無比の巨額に達すべきと殆んと疑を容れざるは、之を當業者の萬口一樣に言ふ所に徵して明かなり、果して然らばヨシ輸入に於て數千萬圓の超過ありとするも、最早今日の如く多少なりとも輸出超過の趨勢を導き來るに於ては、漸次生絲等の輸出の日を逐ふて增加するに伴れ益〻其間の差幅を縮むるに至るとあるべし、而して數千萬圓と云へば大なるが如しと雖も、彼輸入及輸出に於ける實際の差の、表面の數字の如く大ならざるとは夙に世の知る所、余輩は其輸入超過の實額の案外少なきにあらざるやを思ふ、それ然り輸出にして好調なるに於ては殆んど出入相殺するに至るやも知るべからず、苟も此の如き趨勢を實現するに於ては、貿易上より金融の惡影響は之を豫想し得べからざるに似たり

▲內國經濟界の好況なると其二なり春來麥作の良好なる成績を收めたるに、養蠶は豐收を告げ、而して生絲は未曾有の高値を以て賣行つゝあり、是迄の經濟界は惡かるべしと見做すべき事情なし、過般出水の爲めに關東の一部多少の水害を傳ふと雖も、全國を通じての米作は一般に豐收見込なるもの、如く、此上格別の天災なくんば、近年の好作柄なるべきが如し、此米作の豐收は經濟界に如何に良好の影響を及ぼすかは今更言ふ迄もなき所、而して此豐收は又一方に外米の輸入を抑止すべきが故に此點に於ても亦我貿易上間接に良影響を及ぼすものと云ふを得べし

滿洲百人物

(五) 川上常盤

常盤女史は哈爾賓總領事川上俊彥君夫人也、女流の傑を以て夙に外交官中に知らる。似たる者夫婦といへども、温厚總領事と相對照して、配合寧ろ異彩を放つを見る。

女史は幼より基督教の教育を受く、其北海道函館の一女學校に在學する、妙齡夙に女權擴張論を唱導し、屢ゝ名士の門に遊說す、後東京に出て矢島楫子の薰陶を受け、醫學を修む、英語は其最も得意とする所にして、造詣殊に深く、米國諸新聞雜誌の寄稿今尚絕たず、筆致輕妙、蓋し我女流界中稀れに見る所の文才なりといふ。

女史は信仰の人なり、自ら任する極めて高く、有爲の外交官に歸嫁して、一たび交際場裡に其才學を揮はんとす、然れども秀才其人を得ず、女史遂に意を婚嫁に絕ち、終生獨棲を期す、偶ゝ現總領事川上君、一等通譯官を以て露國公使館に在り、將に烏拉地俄斯德貿易事務官に榮任せんとし、還りて東京に在り、女史乃ち君を以て意中の人と爲し、遂に川上君に歸す、當時傳へて一時の佳話と爲し、艷稱措かず。

女史芳紀正に三十左右、楊貴の美西施の艷は、則ち之れ無しと雖も、晩香今尚衰へず、輕羅細腰、楚々人を動かす、交際場裡の花王、何ぞ必ずしも必す可らずとせんや。唯だ女史や、餘りに洋化主義に過ぐ、教育の然らしむる所といふと雖も、若し調合融和するに一分東洋趣味を以てせる、則ち賢夫人として、亦多大の成功を收むるとを得んか。

繪畫に現れたる支那人物

割合に多く書題として擇ばれて居る人物を求むる時は、大凡左の通りである

周公 管仲 孔子 伍子胥
豫讓 張良 曹操 關羽
陳楠 帝堯 帝舜 范蠡
張湛 韓信 列子 向秀
陳寔 太公望 郝文通 蝦蟇
鐵拐 劉女 羅子房 張飛
諸葛亮 樊噲 白樂天 陶淵明
林逋 寒山 拾得 文王
韓退之 李太伯 蔡邕 賈誼
蔡武 董仲舒 蘇東坡 扁鵲
遽伯玉 老子 孟子

之を類別する時は賢君、聖賢、志臣義士、英雄、謀士、學者詩人、仙人、醫家等である、尚ほ此中に於て書題として最も多きを占めて居る人物は左の如くである

管仲 張良 關羽 范蠡
韓信 太公望 諸葛亮 樊噲
陶淵明 李太伯 賈誼 蔡邕

即ち其種類より云ふ時は聖賢、英雄及び學者詩人に屬すへき人物であつて、農商に屬して居る人物をば殆んと見出すことが出來ぬ、當時の實際上、社會思想が如何なる方向に傾いて居つたかが、之れて愈々明確に知られて、誠に興味の深いことである

▲日報文壇▼

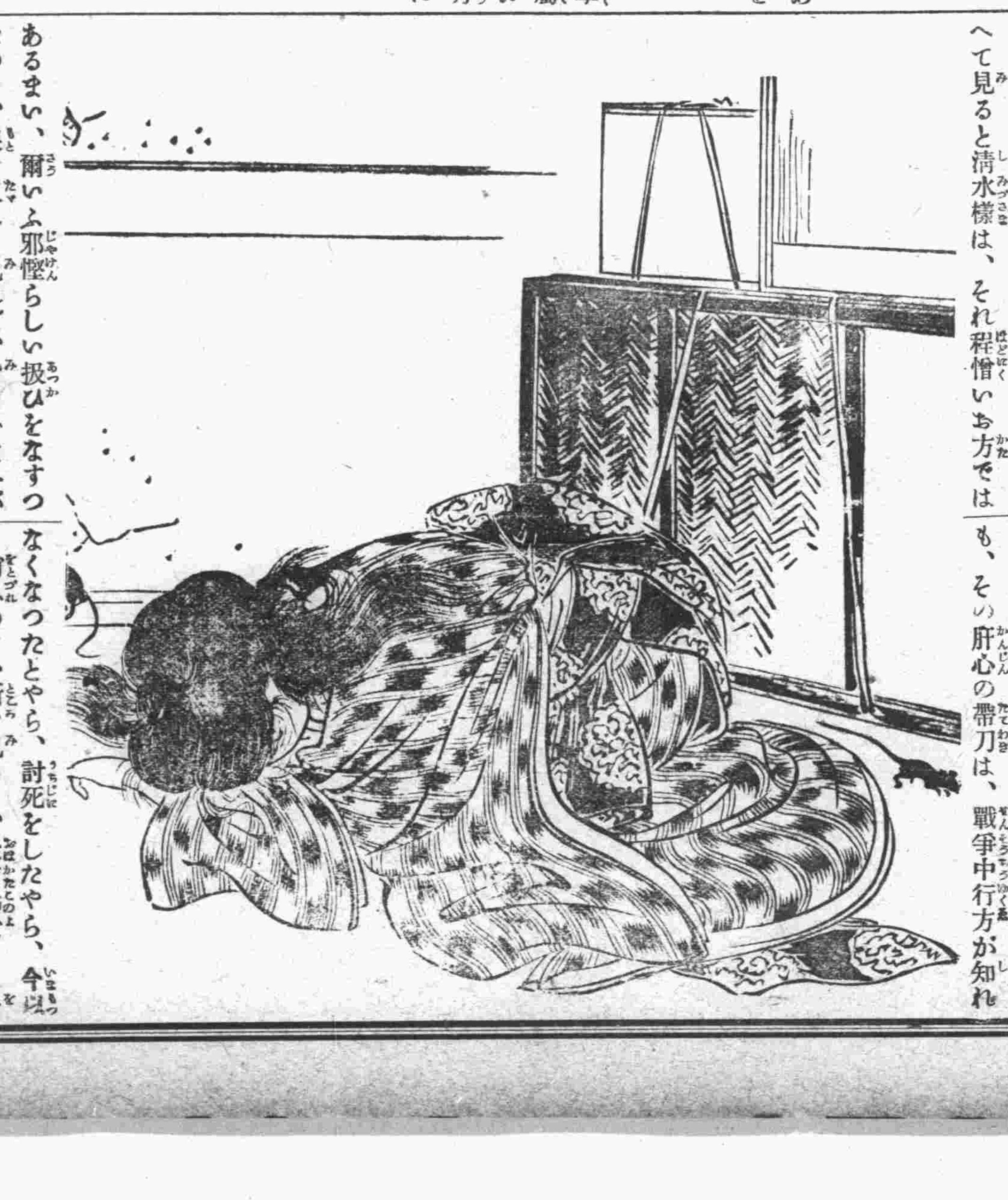
失題 無名氏
百千草枯れ行く園に村雨の露も香に沁む菊の一本

野菊 さる人
霜を置く髑髏あらはに野菊かな

快男兒

第八十二回 渡邊默禪

扨それから御新造のお眼に懸つて、尊孃の事は故意と隱して置き、只清水樣がきついお執心の事丈をお斷し申して、若しお孃樣が此東京にお在ならば、清水樣へお遣しになりますか如何ですかと、御內意を窺つた所が、それやア妾の身に執つて、大恩のある御人の御所望なら、お琴が何といはうと差上げずばなりますまい、最とも妾手掛に遊ばすのなら御免を蒙るが、生涯見棄てずに正室に、なさろうといふ御思召なら、悅んで得心しませうと、個樣の御挨拶だで、愚老も大滿足て、然らば明朝お孃樣を、お引逢せいたしますと申し上げると、お琴は東京に居る筈はない、おまへ何をいふかと、怪訝な顏をなすつて居らツしやつたのは、アハヽヽヽ、餘程可笑しう御座りました、マア譯と申すはアラ〳〵斯くの通り」と菊代と喋し合せし如く、此方の秘密へ嘘の皮の衣を着せて縫目も見せず巧みに欺いた、お琴は餘りの事に呆れはてゝ惡夢になど襲はれし心地、頸のゾク〳〵と痒掻くなると共に、胸の底までもゆくなるが如くに感じ、何とも形容し難き一種不快の念に打たれて、襟に沈ましたる香顋さへ擧げ得ず其の時母の菊代は、キヨロリと鋭き眼を光らし 菊『アノその御斷して、此娘の事が、何も箇も分りました、ねえお琴おまへの了簡では、只々怖い恐ろしい、可厭な目に遇はされたとばかり、思ひ詰めて、殘念だ口惜しいと、身顫も出るであらうが、それは世事馴れぬ娘氣の過失といふもの、能く考へて見ると清水樣は、それ程憎いお方ではあるまい、爾いふ邪慳らしい扱ひをなすつたのも、根を正して見れば、皆なおまへが可愛からで、可愛い〳〵と思ひ焦れたおまへが、妙な柄を突いて、抗ひ立をするものだから、焦てもしたらば角を折るか、靡いて呉れるかと、慘いと知りつゝ、態と情なく當つたのだよ、煎じ詰めればそれも是れも、戀のさせる業、清水樣に咎はない、こんなに思つて下さる人を、お怨み申したなら、罰が當るくらいなものだ、如何せ身を任せるなら、情の深い御親切な殿御に、任せた方が一生の德、剩して清水樣は先刻もいふ通り、コノ母の苦腦を、援けて下すつた御恩人の事なれば、ソノ御恩返しとしても、思召に隨つて呉れなければ困る、殊に彼のお方は長州藩の出で、是れからが御出世盛り、今にも大政官の貴い、御役人とおなりなさる御身分だから、爾いふ方へ緣附けばおまへの立身、又た母の幸福、野尻家の名聞にもなりまする、ねえお琴、進まぬ緣談でもあらうが、義理には替へられぬと斷念めてノウ清水さまへお嫁に行つてお呉れ、コレ此の母が頼みます」と漸くにして本音を吐けり、默然として聞き居たるお琴は、腹立し氣に眉を昂げ 琴『母さま、それはばッかりは……仰せに悖りましては、相濟みませんが、願情それはばッかりは、お免し遊ばして下さいまし 菊『オヤ如何え 琴『妾しにはアノー、定まりました良人が御座いまする、母さまもそれを、御存知て居らつしやりながら、他方へ緣附けと被仰りますのは餘まりで』といはせも果てず 菊『コレお琴、妙に角立つた物の言振、そんな事をいつて母と爭討をする氣かい、成程おまへには秋月帶刀といふ、許嫁があつたけれども、その肝心の帶刀は、戰爭中行方が知れなくなつたとやら、討死をしたやら、今以て消息のない所を見ると、大方此世には居りますまい、死んだ人を引合に出して、妾しの良人に濟まぬから、他へ嫁入は出來ないとは何の讒言です、況して帶刀とは、未だ祝言もさせない仲、親々がホンの口約束だけをいたした分の事だのに、モウ親の目妻を良人なぞといふからには、仰山らしく忍んで、速から不義をして居たと見える、まア此の淫奔者がツ 琴『アレ、飛んだ事を仰被います、妾しは決して其樣……… 菊『事はないといふのか、不義もせず祝言も爲ない間なら、尋常の他人、ソノ他人に對して何の操立が要ります、それともおまへは此の母の恩人に、何處までも恥辱をかゝせて此母を義理知らずの畜生と爲る心底かえ」 琴『いゑ〳〵如何いたしまして、なか〳〵そんなさもしい量簡は……… 菊『持たぬといふなら何故得心をおしでない。』



我紙は滿洲商業の唯一機關を以て任じ實事情確趣味豐富在滿邦民及び滿洲の事情を知らんと欲する者は一日も我紙を閑却すべからず

社告

我紙は本月一日を以て漢文欄を廢止し純粹なる邦字新聞と爲すと共に、滿洲商業の唯一機關を以て任じ、聊か其紙面を刷新する所あり、今日以後更に準備の完成に隨ひ、益〻紙面を改善し、記事を精選し、趣味を豐富にし、誓つて讀者の愛眷に負かざらんことを期す、殊に商業上の報道に至りては最も敏速正確を旨とし、目下附する所の物價表の如き亦益〻擴張して滿洲各地の有ゆる商況を網羅して、其完備に勗め、更に時機を俟ちて大連旅順附録をも發行して、南方讀者の便に供せんとす、謹んで告ぐ

十月五日　滿洲日報社

倫敦電報

太平洋鐵道總會（十月三日）

加奈太太平洋鉄道會社はモントリールに於て總會を開き大西洋に在る滊船を太平洋に轉航する件並に大西洋に於て漁船新造の件を可決せり

●ジヨセフ陛下引籠（仝上）　墺匈兩國皇帝フランシス、ジヨセフ陛下は風邪の爲め御引籠中なり

東京電報

變災は韓兵の所爲　三日午後五時東京特電

韓國に於ける滊車の顚覆及び京城の放火は共に韓兵の所爲なり

記者曰く韓國に於ける滊車の轉覆とは去二十九日午前十一時京釜線太田以南三哩の地點に於て草梁發北行列車顚覆し重輕傷者兵士三十一名他乘客十三名即死者韓人五名を出したる珍事なり

協約祝賀と露使　四日午前十時東京特電

昨夜日露協約祝賀會に於て露國公使バクメチエフ氏は日露兩國一旦干戈を交へしも文明と幸福との爲め一致して極東の平和を確保するに至りたるを賀すと陳べ喝采を得たり

奉天電報

蔡道臺の轉任　四日午後一時奉天支社特電

營口道臺蔡紹基は天津海關道に轉任せり後任は尚未定

雜報

●領事會議

近時銀塊の流出夥しく本年上半期にても二百万兩の多額に達したるを以て蔡道臺は之が防止策として輸出禁止の諭告を出したる事は已記の如くなるが同臺は尚ほ領事團に向つても同一意味の交渉を爲し來りたるを以て同團は一昨日午前十一時三十分より露國領事館内に其協議會を開きて審議する處あり結局一應道臺の說明を聞くの必要ありとて其旨道臺に通牒して來席を促し昨日更らに前會議を繼續せし筈なり

●徐總督の上京と外債

徐總督轄に滿洲涖任の當時外債を借入れ一切新政の費用に充てんことを首唱したるも澤公極力之に反對せるを以て同總督の意見も遂に行はれず其儘行悩みと爲り居れるが滿洲目下の狀況は何れにか財源を得るに非ずば到底新政を施行し難きに付前に徐總督より再三中央政府に禀請する所ありしも未だ允諭を得る能はず未決の問題として存し居れるを以て此次徐總督の召命は多分此問題の解決も其一なるべしと傳ふる者あり

●蔡道台の稅歛輕減

蔡道臺赴任以來心を民治に用ゐ常に民苦を察し曾て稅歛の減輕を計らんとしたりしも百般新政の勃興と共に經費の支出頗る多く暫く之か實行を見合せ居たりしか今回工程局會辦張澤仁の申請により愈々來る陰曆九月一日より之を實施する旨過日告示をなせり其內容の大畧を述ぶれは從來納稅は大洋錢を以て標準となしたりしが斯くては換算其他に於て非常なる不便と弊害とを人民に感せしむるものなれは或種の課稅に限り小洋銀を以て納稅せしむることとし從來大洋錢の課稅額と同一の呼聲高を收納せしめ兩洋錢の換算の差額たけを輕減することとなしたり是蔡道臺は實を擧て名を避けんとするの精神を現したるものにして有識の者は皆其善政を贊賞し居れり其小洋錢にて納稅を許されたるものは家屋店舖稅娼妓稅一輪車二輪車及人力車稅並に貸家稅屠牛場稅等にして他は從前の通り大洋錢を納めしむる規定なり

●蔡道臺へ贈れる謝狀

…日本居留民會の滿足…

拜啓陳者本年八月廿四日以來當港に虎列剌病發生し帝國臣民中よりも前後十名の患者を出すに立至り候處我か在留民間には目下避病院建設中なれども未た完成せさるを以て右の患者を收容すへき場所之なく當惑の餘り貴衙門避病院へ收容方及依賴候處寬大の詮議を以て容易に之を承諾せられ且掛衛生員諸氏は極めて鄭重深切なる看護手當を施され候由にて左しも恐るへき疾患なるに拘はらす半數以上全治の幸福を享くるとを得たるは刀圭界に於ける異數の好成績にて患者は申すに及はす本領事始め一般在留民の感佩措く能はさる處に有之候右は精勵治を圖るに他念なき貴道の熱誠と衛生局總辦及其部下諸員の奮勉とに依る次第にて在留內外人の幸福之に過ぎさる義と存候就ては我か在留民團は今回衛生局諸員か帝國臣民に對して表せられたる好意に酬ひんか爲め一夕の宴を開きて其勞を慰し度希望の趣本領事迄申出て候得共本領事は現下虎疫は己に終熄に近き候へ共未た全滅には至らさる義に付き時節柄宴會等は見合はする方可然と訓諭したる結果在留民等は右樣の次第なれは聊か感謝の微意を表せんか爲め貴道に對して深厚なる謝辭を述へ且つ衛生局總辦以下關係諸員の酒肴料として金二百圓送呈致度旨を具して之か傳達方を本領事に願出て候就ては右金額正金銀行の小切手として茲に封入差進候間前顯の事情を訓示して貴道の手より衛生局總辦へ御下附相成り度同總辦に於て可然御配慮相成候樣致度此段御依賴得貴意候敬具（前號參照）

●巡警事件の落着

奉天十間房事件に關する賠償金に付きては清國當局者は當時萩原總領事の請求に應じ之を支拂ふを約しなりしが愈々昨二日賠償金合計四百五十餘圓を領事館に提出したり之にて同事件に關する我か要求事項は凡て清國に於て履行したるものにて此の事件に對して清國の示したる態度は滿足を以て迎ふへきものなり

●十間房事の賠償金額　別項記載の如く奉天巡警事件は清國當局より賠償金交附により茲に全く落着を見るに至れるが今其賠償金內譯を擧ぐれば左の如し

七十圓 寺本長治　五十圓 阪本龍三
二十五圓 李金香（韓人）　十五圓 木崎富次郎
十五圓 岡田辰藏　十五圓 江中米吉
十圓 木村常松

●軍服着用制限と滿鐵

陸軍省に於ては本年八月陸軍達を以て陸軍々人にして外國に在留又は旅行中の者は公務若くは公式に於て其身分を表彰するを要する場合の外陸軍制服を着用するとを得さるとに定めたるが今回關東都督府に於ては特に滿鐵會社に通牒し關東州は外國と見做すと南滿洲鐵道會社に雇聘中の軍人にして其社務に從事中は軍服を着用するものに非さると及び豫備後備役軍人にして招魂祭、戰役紀念祭、在郷軍人會發會式、貴顯高官を送迎する等は之を公式と見做して差閊なきと等を以てせりといふ

●倫敦の有價證券下落

近年倫敦に於ける有價證券の下落は世界の金融市場に影響を及ぼすこと甚だしく我が財界の如きも之が爲に屢次攪亂せらるゝことは世人の齊しく知れる處ろなるが右の原因は南阿日露兩戰役に於て富の破壞せられたると英國前内閣財政上の失策、地方自治体の公債劇增等によるものなるへしと雖も近着の倫敦スタチストは更に其原因を探究して（一）各國の政治的地位甚だ不定なると（二）金産額の劇增せると（三）各銀行家か準備金の增加を怠たりたる事等を列擧せるが其中產金額增加に關する意見を左に摘錄す

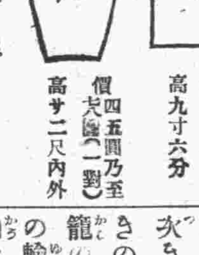
世界産金額の異常なる增加の結果として銀行の準備金著しく增加し隨て銀行は其取引先に從來より多額の資金を長期間融通し得るに至れり而して銀行は絕えず增加する資金を有利に運用せんことを希望する一方には取引先は益々多額の資金融通の便を得んとし斯くして商賣の異常なる發達を促せり而して異常なる商賣の發達は第一に非常なる資本の需要を惹起し第二に物價を著しく騰貴せしめたり最近二年間は各國金融市場緊縮の狀態に在りたるに拘らす產業の發達は毫も中止されさるのみか益々多額の資金を吸收しつゝあり實に物價の騰貴を伴へる產業上の利益多きに因れり斯くして產業の利益意外に大なるの結果として世人一般に資金を株式賣買に投せんよりは產業に投するを以て寧ろ有利なりとするに至り其有利なるに伴ひて新有價證券續出し隨つて有價證券の市價の下落を惹起すは免れさる數なり

●陶磁器集散狀態（六）

……營口に於ける……

十二、次に清國人の嗜好中花瓶に就ていへば左の如し

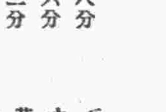
（ホ）花瓶



1　價對二圓內外　徑三寸三分　高九寸六分
2　價四五圓乃至六圓位（一對）　高サ二尺內外

第一圖の圓筒形花瓶は一般に用ひらるゝものにして總て小形也第二圖は中流以上に多く用ひらるゝのもにして大形也而して圓筒形の生地は白色にして花鳥庭園に人物の模樣等多し又第二花瓶は生地多く淡青色にて藍の草模樣其他花鳥類の綿密なる模樣多し

（ヘ）石鹼入



橫一寸八分　縦二寸六分　高一寸二分
白生地に花鳥山水小童の遊戲草花等の模樣多し　價二十錢

十三、結論　之を要ずるに本品は營口港經濟的需要の地位を占むるものにして尚前途益〻多望なるは今更多言を俟たさる也然るに當港に於ける日本品を見るに其の狀態未た極めて幼稚にして而かも彼の三十八九年の頃日露戰勝の餘榮に乘して一時販路を開拓して以來今や將に歲を重ねんとするに未た些の進步を見す寧ろ大に退步の傾向を呈せるは轉た慨歎に堪へさる次第也されば今日に於て當業者茲に反省する所なくんば今日の販路は却て他日の仇となり悔ゆるも復た及ばさるに至らん而して其之を改むるに最も急を要するは品質の△△△△精撰と荷造の改良之れ也此の二つだに改良し今の期機に於て積極的活動を取らは當地に於ける日本品は優越なる地位は益々擴張せられ其賣行き蓋し鮮少に非ざるは言を俟たさる所也

●豆油の商況　自七月至八月

營口本年度の豆油商況は昨年に比し頗る好良なる成績を呈したり是れ全く南清地方の饑饉に基くものにして近來營口豆油の强敵として現れたる南清地方製造の豆油及落花生油は本年に於て製出高に非常の減少を來したるに因るべし從來南清は當地製油の唯一の顧客なれば近來同地方に於ける豆油落花生油の製造は少なからざる打擊を我營口豆油に與ふるものにして昨年の如きは其影響によりて七八月間に於て僅かに二万籠內外の輸出を爲せしに過ぎず而かも相場も非常の壓迫を受け五月初めには百斤に付き七兩五錢なりしに中旬には七兩二錢更に六月に入り五兩五錢に暴落し漸く七月の下旬に至り六七錢の引戾りしも到底南清相場の出合はざりし爲當業者は何れも非常なる苦境に立至りし程なりき然るに本年は前に述べしが如く南清饑饉の爲め同地方の製油を以て需用を充たすに足らず當地に供給を仰ぐに至りし結果同期間に於て昨年の約五倍即八万籠の輸出を爲せり相場に於ても昨年に比し一兩五錢乃至二兩內外の高値にありき次きて近年新に輸出の道を開きたる日本向きの如きも漸く增加を來し昨年長崎に五十籠の輸出に過ぎざりしが本年神戶に一千籠の輸出を爲せり尚ほ續々增加せんとする傾向を呈し來たれり斯くの如く本年は一方需用の劇增あるに係らず當地當業者は原料大豆の供給不足の爲め人氣を回復する事能はず猶ほ昨年の惰力により相場も五六月の頃は至りて低く七兩五六錢內外なりしが六月の末漸く七兩九錢にて四千籠の取引ありし以來俄かに人氣づき殊に原料大豆の供給は旱魃によりて不穩の形勢ありより相場は俄然暴騰し七月中旬には八兩五錢を唱ひ八月に入りて更に八兩八錢になるに至り而かも益々上騰の傾向を示しつゝあれば今年の豆油界は頗る好況と云ふべし

●大豆大豆粕輸出數と仕向地

九月中當港に於ける大豆大豆粕輸出數量及仕向地は左の如し

橫濱	大豆粕	一八一、二四〇擔
	大豆	六、七四〇
四日市	大豆粕	二〇、七〇〇
神戶	大豆粕	三一、六〇〇
	大豆	四、〇〇二
龍口	大豆粕	九、八九〇
廣東	大豆	六、三七〇
合計	大豆粕	二四三、四三二
	大豆	一七、一一〇

之を前月に比較せは輸出大豆大豆粕に於て粕十九万五百三十二擔豆八千四百九十二擔の增量を視たるが之れ畢竟例年の霜枯月を經過して漸く荷動きの開始されたる結果にして一部の商況は僅かに生氣を有し居ると云ふ

●九月中入港船舶國別噸數

前月入港の船舶國別噸數は左の如くにして前月に比し二隻の增加なりと

▲日本 二四隻 二三、九九七噸▲英國 三四隻 三四、九六四噸▲淸國 一隻 七、六四三噸▲佛國 三隻 二、〇七一噸▲獨國 一隻 八八三噸▲合計 七三隻 六九、五六〇噸

●哈爾賓麥相場の暴落

哈爾賓に於ては新麥の市場に來るもの毎日約三万プートの多きに達し相場は日に日に下落を來し目下露貨六十五カペー內外にて以前に比すれば八九カペーの低減を來したるが商人は尚は下落の模樣あるため手を出すものなく一周日の後に至らは六十カペーまで暴落すへしと望觀し居る由ハルピン近信に見えたり

●穀物の相場下落

大連市場にては新穀物の着荷漸く多くして舊穀物の賣行は善しからす相場も從て下落し新元豆百斤に付鈔票四圓〇五錢に對し舊元豆は四圓なり尚ほ各種穀類は新穀物の增加と共に一般に相場の低落を視るに至れりと

●安東新市街の滿商

新市街に清國商人の營業せるは質屋雜貨商飲食店湯屋理髮職旅人宿等にして其資本額類別數を擧ぐれば左の如し

三千圓以上質商五、千圓以上湯屋二、五百圓以上雜貨商十二、四百圓以上雜貨商二、同旅人宿一、三百圓以上雜貨商五、二百圓以上同四、飲食店十一、百五十圓以上雜貨二、飲食店十四、百圓以上飲食七九、理髮業四、

●鴨綠江の解業に就て

鴨綠江に於ける解業者は郵船、鴨綠組及び安田洋行の三社によりて營業せられ居れるか中にも安田洋行はタイター業と密接の關係を有し今后專ら力を注いで荷主の便宜を取計ふ由

●賓後の割戾託送代理人の承認

滿鐵會社に於ては貨物運賃割戾規定に依り其後運賃割戾及託送代理人たるとを承認せるもの左の如し

營口驛	東淸通運總局	四 高坂景顯
大連驛	仝支店	仝 中島和平
蓋平驛	仝	仝 秋吉萬作
大石橋驛	仝	仝 原啓吉
奉天驛	仝	仝 秋山保太郎
鐵嶺驛	仝	仝 堀元吉郎
開原驛	仝	仝 山本松次郎
四平街驛	仝	仝 土井茂吉
雙廟子驛	仝	仝 村上小一郎
公主嶺驛	仝	仝 新井善次郎
孟家屯驛	仝	仝 堀壽八
奉天驛	內外運輸公司	Ⓝ 安達都
大連驛	北長公司	㊄ 上野正太郎
營口驛	仝支店	仝 岩城眞吉
奉天驛	仝	仝 柏谷好助
鐵嶺驛	仝	仝 榊增助
開原驛	仝	仝 梶浦定延
昌圖驛	仝	仝 上野盛綱
公主嶺驛	仝	仝 光永重裕
孟家屯驛	仝	仝 上野木丸

●長春回教學堂の設立

長春マホメット教董事王振益なる者敎民の智識開發の爲め今回敎民の紳商等と會議し同地に於て回敎半日學堂を開設することに決し既に學堂機械一切を購入し不日開校の筈なり

●小島木材廠長の歸安期

在安東縣小島木材廠長は目下歸朝外務省と或重要の問題に就き打合中なるが要件も結了せるを以て已に東京を出發し來る六七日頃歸安すべしといふ

●山路驛長の歸任

山路營口驛長は過日家族引纏の爲め安東縣へ赴き居れる所一昨夜歸任せり

●新井石禪師の軍隊慰問

曹洞宗教學部長新井石禪師は滿韓守備軍慰問の爲め韓國より滿洲に入り安東奉天鐵嶺長春遼陽等各地の軍隊を歷訪し一昨三日晚牛家屯へ着同地守備隊に二泊今朝大連へ向け出發せらるゝ由

●敍任及辭令

依勳功特陞授子爵　正三位勳一等功三級　男爵　大島義昌

敍從六位（各通）　正七位勳六等　相賀照鄉
　　　　　　　　　正七位勳六等　窪谷逸次郎

任關東都督府事務官敍高等官三等
關東都督府通信事務官正六位勳五等　加藤顯次郎

兼任關東都督府通信事務官敍高等官四等
關東都督府事務官正六位勳五等　加藤顯次郎

任關東都督府通信事務官敍高等官七等
關東都督府通信事務官補從七位　最所支二

（各通）
關東都督府警視正七位勳六等　吉田嘉一郎
關東都督府法院檢察官正七位　八橋容
關東都督府法院判官正七位　佐藤喜多松
關東都督府法院判官正七位　和氣甚八郎

陞敍高等官五等
陞敍高等官六等　關東都督府通信技師從七位勳六等　入代眞喜治

○○○○○「某實業家曰く

今日の如く世界の經濟が共通にあつては一國に於ける生産過多の如き左迄憂ふるに足るまい日露戰后の實業界に就て詰らぬ杞憂を抱くものもあるが此等は餘りに經濟思想に幼稚なりと云はねばならぬ彼の泡沫會社や成金の如き如何に起つても倒れても經濟の眞相には更に影響するものでない

筆墨魔

三井物產會社には色道にかけては大剛無敵のエラ者が多いが、其中にも重役の一人たる飯田義一クンは剛中の剛、强中の强なる者である▲飯田クンは大阪で尾張テイ子といふ美人を手に入れて鶴村屋といふ待合的料理屋を開業さしてるが記者も一兩度はテイ子クンに見ふるの光榮に浴した、それは〳〵愛嬌のいゝ色氣タップリの、所謂三井式美人の隨一である▲三井物產の大阪支店長である藤野龜之助クン、今の長崎仝支店長たる河村良平クンなんかは飯田クンの隨行で屢次此美人を見せつけられたといふ迷惑話があるが、隨行員中にはテイ子と怪しかる密約を成立さして毎日のやうに入り浸つてるのがある▲テイ子の母親は物堅い女であるから此容体を見て夫れては飯田の旦那に濟むまいガナと、屢〻意見を加へるので、テイ子は母親買收の一策を案出し、飯田から月々送つて來る金の半分を、密約のある男からと云つて母親に呉れてやる▲そこは何んぼ物堅くても女は慾が深い、母親は笑顏を崩して、ホイホイこんな旦那なら心配は入らん、大事にしなさいや、ナニ飯田さん位ドウでもよい哩

公私往來

▲高島小文治（大倉組副頭取）　四日奉天に到着用件は各支店の營業狀態視察の爲め
▲石坂剛市（橫濱貿易商）　昨日大連より來營清林館へ投宿
▲ジー、アルトベルグ（瑞典人）　昨日奉天より來營仝
▲安達都（三井物產會社員）　同

雜報
●同仁會へ御下賜金

●奉天馬鐵の起工
奉天馬車鐵道の工事に付きては農工商部に

●眞鍮鑄物の好望
本邦工藝品中海外輸出品として近き將來に
同品の需要も將來或は多少の需要を見るに至るべしと其實業家は語れり

△今增設したる日本風の座敷は春の綠夏涼の秋の月冬の雪四季の眺望に富むに於て大

營口地方　天氣豫報　自十月四日午後六時至十月五日午後六時　南の風曇り小雨

[illegible]長窪田領事に宛て去月二十六日宮中より金五千圓を同會に御下賜あられたる旨通知ありし由

此の程同部より[illegible]來る舊曆九月一日即ち十月七日より第一期線即ち停車場より小西門に至る軌道の工事に着手すへしと

[illegible]にも我邦製の眞鍮鑄物を歡迎し室內用品などになすのみならず建築裝飾用具其他種々の用途に使用しつゝありといへは淸國に於ける

（濱）綾川　（小）手柄山　朝日潟　鳳　大碇　琴ノ浦　大林　鳴戶岩　（勝）左倉川　有知山　（西）高根松

一等貸座敷　[illegible]樓（電話二二九）

大連 南の風曇り　奉天 風向不定晴れ　最低五五、六　高一八[illegible]

特別廣告

社則第十二號

南滿洲鐵道株式會社附屬地居住者規約左ノ通相定ム

明治四十年九月二十八日

南滿洲鐵道株式會社
總裁男爵　後藤新平

南滿洲鐵道株式會社附屬地居住者規約

今般南滿洲鐵道株式會社ニ於テ南滿洲ヲ開發シ並公共ノ利益ヲ增進スル爲其ノ附屬地ニ土木、敎育、衞生等ノ施設ヲ爲スニ付テハ附屬地內ニ住居若ハ滯在シ又ハ土地建物ヲ使用シ若ハ建物ヲ所有スル者ハ左ノ諸件ヲ確守スヘキコトヲ承諾スルモノトス

一、會社カ其ノ施設ニ關シ又ハ公共ノ利益ノ爲制定スル諸規則ヲ遵守スヘキハ勿論公德ヲ重ンシ苟モ公益ヲ害スヘキ行爲アル間敷事

一、會社カ施設スル營造物ハ各自ノ共用ニ供シ又公共事業ノ爲要スル費用ハ公費トシテ各自之ヲ負擔スヘキ事但シ其共用ノ方法公費ノ種類分賦等ハ別ニ規則ヲ設ケテ之ヲ定ムヘシ

一、此規約又ハ會社ノ諸規則ニ違反シ其他公共ノ利益ヲ害スヘキ行爲アリタル者ハ會社附屬地ヨリ退去ヲセラル、コトアルモ異議有ル間敷事但シ必要アル場合ニハ警察官ニ依賴スルコトアルヘシ

一、鐵道附屬地內ニ於テハ何レノ國人ヲ問ハス同樣ノ待遇ヲ受クヘキハ勿論ナルニ付共ニ規約ヲ嚴守シ和親協同ヲ旨トスヘキ事

社則第十二號

現定南滿洲鐵道株式會社附屬地居住者之約規。遵照後開條規。施行可也

南滿洲鐵道株式會社
總裁男爵　後藤新平

明治四十年九月二十八日
光緒三十三年八月二十一日

南滿洲鐵道株式會社附屬地居住者約規

南滿洲鐵道株式會社。現爲開發南滿洲地方。以增進公共利益起見。即擬於本會社附屬地內。施行土木敎育衞生等項。仰居住該地域內者。或租用土地房屋者。或自有房屋者均應知悉。按照後開條規。遵守勿違。爲要。

計開

一、關于本會社設施。并爲公共利益。所定各章程。遵照嚴守。固不待言。此外尙須各重公德。勿害公益。

一、關于本會社設施之公共營造之物產。應歸衆人公共之用。若遇有公共事務需欵之時。須由大衆湊集公費。此項公費出入之項。仍按等差。分門別類。另定章程辦理。

一、如有不遵約規。及本會社章程。或致阻碍妨害公共利益者。即應將該居住者。遷出附屬地外。不得異議。其有不遵者。酌量請警察官。實力施行。

一、凡居住附屬地內者。不問內外國人。一律相待。蓋以國籍雖異。亦必和衷協同。倶遵守本約規。是爲至要。

●南昌の排外暴徒　南昌にては排外暴徒起り去る一日天主敎會堂を燒き宣敎師一名殺さる（四日午后四時奉天支社特電）

講談 假名太閤記

（第七十五席の下）　桃林伯知口演

今日も今日とて秀次公御物見へ上つて表を見て居らつしやると年の頃三十位にもならうかと云ふ一人の小原女が野菜物を頭上へ載せて京の町を指して賣りに往く樣子、秀次公其女へ凝と目を注けて居られたが　秀「コレ〳〵伴作　伴「ハツ……　秀「あれへ參る女は小原女と見えるが大分腹が大きいやうぢやな　伴「御意にムいます　秀「あれは小供が出來て居るぞ　伴「左樣に見えまする　秀「面白いな　伴「へイ何が面白うごさいまするか　秀「イヤ何でも宜いわ、あの女を早々庭先へ伴つて參るやう致せ　伴「如何致します　秀「如何致しても宜いから伴なへ〳〵、外の近侍共に命じて連れ來れ　伴「へイ……　秀「早く致せ」と仰しやつた儘、秀次公には御物見を下りて座敷へ來られ待受けて居らつしやる樣子だ、さア伴作は不審で堪らない姙婦を連れて來て何うなさるのだらうと思ひましたが、君命否むに由なく、右の次第を外の近侍の人達に申入れると、心得たりと若殿輩、直に表へ飛して來つた、そんな事とは知らない例の小原女、丁度今聚樂の御門の前を通り過ぎやうとすると　若「コレ〳〵其處へ參る女暫く待て呼止められて　女「ヘイ……」と足を止め振返つて見ると門內から立派な武士が七八人出て來たのだから胸つとして　女「ハ……ハイ……何か御用でムいますか　若「何でも宜い、グズ〳〵言はんで此方へ參れ　女「イエ私はさう云ふ所へ參るやうな者ではムいません、どうぞ御許し遊ばして　若「許すも許さぬもない、上樣の御言葉だ其方を伴び來れとの關白殿下の御言葉だ　女「關白はんの御言葉ぢやと云ふて私は御城の中などへ連れて往かれるやうな……　若「うるさい何でも宜いから參れと言ふに」と聽て忌やがる其女を無理に城內へ引入れ御庭先へと連れ來りました、此女秀次公の前へ引出されヂット御覽になりましたが此後如何に相成りますか

●營口に入るの記

はしがき（一）

娘なら十七八、番茶なら出端、何でも物は始が珍らしい、殊に新婚早ふと來ちや愉快なことは口にも筆にも殆んど形容が出來ない相だ。僕等は如何なる天魔のお恨らみ乎不幸にして其麽愉快な福音に與かつた事もなければ、想像することの資格も有たないが、而し此の度の旅行は或は其麽愉快以上ては有るまい歟と密かに僕は考へた。

洵とに支那に就て嘗つて一度の名染をも有たない僕は、小學校の先生から敎はつた地圖上の支那を此處が北京だ、此處が奉天だ、其處が旅順だと人示指や、親指の爪先て歩いては見たが、幾十里步いても、幾百里步いても、幾千里歩いても山も無ければ川も無く、唯だ眞白な紙の上に血管見た樣な靑筋や、蚤の斷續とも云ふ可きぶつ〳〵した黑線の上を走るのみで一向手答が無い、其代はりに地圖上の支那は一分一刻の間に幾千哩も步むことが出來る、亞細亞洲を往復することが出來る、地球を三週することも亦た朝飯前である。所が今度は其の樣な呑氣な地圖上の旅行でなく、五彩の色の上を駛つて得たりと思つて居た小學時代の僕が段々と出世して實際の土を踏むと云ふことになつた。

夫れて僕は東京を辭する前に年數久しき以前から支那に就て研究をして居る人や、支那現時の政治的改革を唱道して居る人や、或は又た帝國主義の人々から斯う云ふ緯を聞き及んだことが屢々であつた。夫れは支那と云ふ國は、幾年居つても一切分らぬ、慥うしても支那事情の全體は知ることが出來ぬ、支那は遂に永遠の怪物である、と云ふ異口同音の一事なのである。僕は此等の言語を聞く度毎に希望が全身を廻ぐつて寔に怖い物見たさの念が積り積つて矢よりも急に一刻も居た堪らずなつたことか前後幾度であつたか知れぬ位である。

今僕の軀軀が何處に在るかと尋ねて見給へ！僕は早速地圖を擴げて僕は今確かに此處に在ると云ふことを指摘して後直に僕が此處へ如何にして輾がつて來たかと言ふ旅行の歷程に就て述ぶるであらう。是れ僕が敢て『營口に入るの記』と題し回を追ふて讀者の披覽を煩はさんと欲する所以である。支那に就て初名馴なる僕の感想亦た他山の石として諒讀を乞ふ。（留川生）

●殘る烟が癪の種

朝に平家を送り夕に源氏を迎へ夜毎に變はる客枕、綺羅を盡せる晴衣の其袂さへ忍ぶ涙に濡れ果つること多しとかや去れば憂きを分ち喜びを共にする一人位の情夫なくては辿も苦海を渡り終うすることの出來難きは理の當然とや申すべき玆に仙金寨玉川屋に初子と云ふ酌婦あり當年十六歲の花盛り天成の麗質がナマジ仇となり型の如く騙されて遂に滾々たる濁り江に身を沈めしこそ是非なけれ見るもの聞くもの悉く虛僞に滿ち〳〵てツク〴〵浮世の賴み難きを感ぜる折柄、客の一人なる渡邊某（二三）が何かにつけて親切に世話し呉るれば初子は深く其眞心に服し勸め氣離れて待遇し果ては夫婦の誓文まで取交はせしが月に群雲の譬に洩れず某は止み難き要事にて一先づ內地に歸らねばならぬ仕義となりければ初子は別れを惜みて一夜泣き明かし翌くる日某の留むるをも聽かず竊に停車場に赴きて人目に立たぬ樣見送りし夫れより後は一間に籠りて他の客の席をも斷り日々下り列車の烟を眺めつゝ痛く鬱ぎ居れりとぞ

●其後のお菊　當地舊市街材木商森川菊次郞（三〇）の滿妻お菊（一九）が狂言身投を爲したることは其當時の本紙に載せたるに其後森川は尙お菊の愛に溺れて之と手を切るに忍びず新に新市街花園町に一戶を借りて住ましめ折々通ひ居る由而してお菊は有名の莫連者なれば何にかにつけて森川より金を捲き上げ十分貯へたる上お去らばを極め込む底意なりと云へば森川たる者一は操正しき本妻に對しても宜しく早く目を覺すべきことにこそ

●大相撲三日目の勝負　大連大相撲第三日目の勝負は左の如し

勝　負

小猫（つかみ）釼石
清見嶽（うはなげ）有知嶽
勝時（一ぽん）綾川
鳳（たり）西昇
加古川（とつ）高根山
小綠（あび）大林

勝　負

渡藤（をした）有明
信乃川（かたす）綠川
手柄山（したて）濱ケ崎
鳴戶岩（したて）土州山
有知山（なげ）今錦

中入後

大碇（したて）左倉川
琴ノ浦（より）朝日潟

番外　お好

西昇（ひだ）小綠

●藝妓の手踊　來る十八九日頃當地料理店組合員の重立ちたるもの發起と爲り營口座にて藝妓の手踊を開催する由にて目下踊の稽古やら衣裳の好みやらにて各店何れも多忙を極め居る由右は近來藝妓酌婦の入院するもの俄かに多く爲に組合の費用嵩み尠からぬ借財をさへ生じたれば一は其を償却せん爲め他は其幾部分を割きて內地水害の窮民救助に資せん爲めにて半ば慈善的演藝會なりと因に入場料等は一切無料にて寄附は各自の隨意に任かす筈なりと云ふ

●諸石巡警顧問留任運動　遼陽淸國巡警總局顧問たる諸石熈一氏は銳意其職を勵め効績少からざりしが今回一年志願兵となりて近々歸鄕せらるゝにつき同地淸人は之を惜みて一片の留任書を速水領事に差出したり無論聽き容れらるべくもあらねど以て氏の聲望を知るに足るべしと

●膏藥代にて示談　當地七福亭主人の弟某が誤つて大木方のボーイを撲り負傷せしめたることは去る二日の紙上に揭げ置きしが其後他の仲裁にて七福亭より膏藥代として若干の謝金を差出し漸く事濟みとなりたり

●山縣光雄遂に立退く　屢々我社の筆誅に懸りたる元第一樓の山縣光雄夫妻は愈々退清期日も昨日と迫りたるを以て殘余の用事等あり旁々其旨を領事館に申出て延期を請願したるも同館にては頑として之を容れざるを以て止むなく牛家屯へ一夜の宿泊を乞ひたるも其さへ聽かれず遂同人夫妻一昨日午后五時四十分發にて大連に向ひたりと

●奉天の遊廓と墓地　旣報の如く在奉天の日本料理店を一ケ所に集むるの計畫及び日本人墓地設定の議は其の筋に於て調査中なりしが此の程遊廓には小西邊門に沿て南へ四万五千坪の土地を以て充つる事とし墓地は大西門外に設定する事となれりと

●在留禁止　原籍愛媛縣溫泉郡川上村字松瀨川百十五番地戶主平民當時住所不定無職渡部柳吉（四五）は地方の安寧を妨害せむとするものと認め向ふ二ケ年間淸國に在留することを禁止したる旨在奉天總領事より各地に通知ありたりと

●滿洲のちり　▲安東　市場通九丁目中田丈助が何者かの爲めに盜まれたる白縮緬兵兒帶外十數點の物品は此の程旅順民政署より同警察に向け小包郵便にて送附し來りたりと云へば犯人は多分旅順に於て逮捕せられたるものならん▲大連　岩代町料理店高砂方藝妓鶴江（一八）は伊勢町疊屋森田甚助（三一）と淺からぬ關係となり斷りなく森田方へ舞ひ行きしかば高砂にては其筋へ恐れ乍らと屆け出で目下双方ゴタ〳〵の最中▲旅同驅梅病院へ收容中の藝妓は二十一名にして娼妓は七十四名なりと▲奉天　小西關小什字街支那人の住宅より出火半燒にて消し止めたり

□驚くべき物價の騰貴

明治三十年	一〇〇
全三十一年	一〇九
全三十二年	一〇六
全三十三年	一一三
全三十四年	一〇八
全三十五年	一〇六
全三十六年	一一三
全三十七年	一二〇
全三十八年	一三二
全三十九年	一三六
全　四十	一四〇

投書かご

（いしほんまくた）

▲文章は須く巧拙の境を過ぎて淸淡の域に入るべしである僕は此點に於て故福澤翁の文に敬服して居る矧川、蘇峯の文の如きは稚氣滿々たる者だ（平凡子）▲永世街廣進洋行の若いハイカラ番頭は聊か生意氣て商人には不適當だ（葬の人）▲元祇園閣に居つたお福は今ては遼陽の日淸館て相變らず辣腕を振つて居る（地廻り）▲大連伊勢町臺灣苦藥部にて開催の幻燈會は江原君の盡力誠に多大、時節柄有益の企なれは私共は深く御禮申します（市場木村）▲花月の米子は每晚一時間計りの外出とは誤熱心々々（岡焼）▲近寄りて一部にのみ注意しては全體の善し惡しが知れぬ西洋繪は世を渡る人々を諷刺して居る（本郷長願）▲親の脛をかじれば甘味如何曰く甘い者にきまつて居ます（東　二）▲西邦亭の道樂息子曰く此頃は實に遊びの費用に窮したが他の物を曲げれば新聞に出さるゝし、と云つて自分の物を入れゝば追々の寒空が凌がれ無い嗚呼困つたナ！（立聞生）▲キノコロさん其後は何の便りも無いが夫れでは余り情がないでせう（明白子）▲深く腦裏に印象を與へてどうしても忘れることの出來ぬことには多く悲愁怨恨が添ふてゐるものである（花影小史）▲鐵嶺民會は万斗滿洲式のヅボラであるから宜しく眠會と改名し給へ（居留民）▲近來鉄岑の人身攻擊がヘャルが責むる人が無理か責めらるゝ者が當然か一に識者の御眼鏡を待つ（門外子）▲遼陽名古屋館はチャンコロ專門て大分儲けたので近々歸國するさうだ（白塔子）▲大連稅關が出來てから小包郵便までが非常に延着て小商人は誠に困ります何とか迅速なる便宜法を設けられたし（奉天一商人）▲新市街て女の八入好さは橫綱大黑樓の老母、東の大關福島のおかみ、關脇万直しのおさく、小結祇園閣の瀧龍、前頭永田の妻君、同日本舘の都、同ペンキヤのおかみ、瓢亭の奴、吉川の妻君、西の大關吉村のおかみ、關脇饅頭屋のおかみ、小結稽古屋のお松師匠、前頭万直しの鈴子、同大黑樓の金八、同日本舘のお千代、同髮結お政、同大關の妻君（六十四翁）

防長上白米新着

盛進商行（電話二十番）

營業案內（四）

營口煉瓦製造所

規模の宏壯と機械の完備とは此地附近に於ては到底見る事が出來ない恐らく滿洲に冠たるものであらう殊に最近新式機械を据へ附けてから白地の製造も機械力を以てする樣に爲り近頃は人力と合せて一日二万數十個の出來上りがある其主として製出するのは日本型のみで支那煉瓦は隨時注文に應じて製造するさうだ、價格日本型て千個十八圓位であるとの由、泰東公司は之か持主てある

□新川柳（投句歡迎）

借りに行けば月にて借ました　喜月
辻占屋　姉は洲崎に只一人　同
風鈴に互いちがいの一ツ鐘　同
斜にインキを引と反古になり　花女
請狀て見れば傾城小夜とやら　鬚人
立聞をした繼ッ見さいなまれ　當百
縞柄を袖にあてがひ欲からう　京女

御注意（購讀諸彥へ）

本紙定價は從來一箇月金八十錢なりしが本月一日より金六十錢に引下げ尙半年以上の前金購讀申込の御方へは特に割引して半箇年金三圓四十錢、一箇年金六圓五十錢にて配送可仕候右紀念及廣告候

十月四日　滿州日報社販賣部

特別廣告

牛莊郵便局爲替貯金
金銀受拂相場　九月廿九日ヨリ 來十月五日迄
一圓銀壹圓ニ付 軍票又ハ本邦通貨 金壹圓〇四錢一厘
電話問合ヲ謝絕ス

廣告

廣告主へ御用の節は滿洲日報にて見し旨御申添被下度

營口出帆廣告

日本郵船會社 瀛船出帆

●相模丸 十月十日末明出帆太沽芝罘長崎門司神戸行
御乘客前晩六時迄に御乘込相成度候

●酒田丸 十五日末明出帆大連門司神戸横濱行
御乘客は前晩六時迄に御乘込相成度候
（乘船切符發賣ハ出帆前三時間迄 末明出港ノ分ハ前日午後五時迄）

營口 代理店 旗昌洋行（電話二六番）

瀛船營口出帆

●摩耶山丸（營口大阪間定期）
●頼朝丸（營口長崎間定期）
●音羽丸（營口長崎間定期）
●御代丸 十月十二日入港豫定
●北辰丸 五日入港
●福陽丸 八日入港

松茂洋行 電話（五二、五七）

瀛船出帆廣告

●長柄丸 五日天津行
●萬成源丸（營口芝罘天津間定期）
●第二生田丸 近日入港

代理店 東和公司（電話四一〇番）

大連出帆廣告

日本郵船會社 瀛船出帆

●横濱丸 九日正午十一時門司宇品神戸行
大棧橋より發船可致候（電話貳壹〇番）
日本郵船株式會社大連出張所

大阪商船會社 瀛船出帆

●鐵嶺丸 八日正午門司神戸大阪行
●勝山丸 九日午後三時門司横濱行
●天草丸 十二日正午門司神戸大阪行
大棧橋より發船可致候（電話貳貳零番）
大阪商船株式會社大連出張所

松茂洋行船舶部 瀛船出帆

●摩耶山丸 十日後四時營口行
●頼朝丸 十五日午後四時營口行
●音羽丸 十八日午後四時門司長崎行
▲乘船切符は吉野町大山通り角〇ト運送店にて發賣可致候
大連市監部通り二丁目（電話二五九番）
河邊商店大連出張所松茂洋行

資本金貳千四百萬圓
積立金壹千五百零五萬圓
本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪 倫敦
里昂 紐育 桑港 布哇 孟買 香港
上海 漢口 天津 北京 大連 旅順
奉天 遼陽 芝罘 鐵嶺 安東縣 長春（寛城子）
電話十番（支配人室）（百八番事務室）
横濱正金銀行牛莊支店

正隆銀行
營口元神廟街二八六
電話（支配人室三四一 事務室二一〇）
總經理人 深水十八
隆記洋行 西分店
西營口老爺閣東小紅樓西南側 電話 四二

廣告

弊店儀事業の一部として昨年四月地を牛家屯遼河左岸に卜し工場敷地として二万四千坪を購入し大豆粕製造所の建築に着手致居候處幸ひに工場内に於ける諸機械の据付及大倉庫の建築も殆んど完了致し不日製品に着手可致候に就ては此際業務を擴張し來る十月十日を期し本店を營口老爺閣街戸部銀行西隣に移轉し製品の御注文に可應候尚ほ製品は牛家屯小寺碼頭より直接船積の便有之候間陸續御注文の程伏して希望仕候 敬白

清國營口老爺閣街 小寺洋行本店（電話二五五）
清國牛家屯清泰街 小寺機器油坊（電話三〇三）
清國大官屯（牛家屯停車場北） 小寺農場（電話一〇六）
大日本神戸市兵庫西出町六百六十七邸番 小寺洋行神戸支店

敬啓者本行此次推廣業務在營口牛家屯之間買地武萬四千坪建設油坊月前動工興築一工廠棧房並備置一切機器現已告竣日內開辦應蒙諸公賜顧若有提供原料者在敝廠包辦製造豆餅且從來本行賬房設在辟地頗不方便故自陽歷十月初十日以後將賬房移遷於營口老爺閣街戸部銀行西隔壁以便來駕面議本行現在牛家屯設有碼頭以便裝貨諸公請駕臨本行面訂庶不致悞專此佈告

小寺洋行主人 敬白

最新流行寫眞
一絹地寫眞（ブロモシルク）
一銀地寫眞（シルバータイプ）
右新輸入品に付御披露の爲當分の內壹組の外絹地銀地何にても壹枚進呈可仕候
營口元神廟街 三船寫眞館（電話一四一）

一杉丸太 一板小割
一亞鉛板 一平野水
一消毒石灰 一各種石炭
一白米 一木炭
一洋釘 一セメント
營口南本街四丁目 喜久洋行（電話三一四）

機械製煉瓦石發賣
弊製造所義兼而「コルニシユ」式素地型成機械並に嶄新なる素地乾燥室建設中の所去月下旬竣工本月一日より全機械力に依り製造室內の乾燥に着手仕候所豫期に異ならず製出の煉瓦石は形狀方正表面滑澤にして裝飾用として頗る高尚優美品質緻密耐壓力强靭吸水量僅少に候故土木建築用として適品と確信仕候得共尚實物御一覽の上御高評を相願度先は右御披露迄
營口牛家屯 營口煉瓦製造所（電話二四二）
販賣所 營口元神廟街 泰東公司（電話一三五）

いぼじ 痔核 苦痛なく一二回の注射にて全治す
新法 梅毒。婦人科（入院隨意）
新療法 外科。胃腸病
專門 日本醫院 營口永世街（電話一二七番）

頭彩壹萬圓
第二十四次 大連彩票賣出
開彩十月二十六日
裕和盛（電話八壹）

冬品揃
三週年賣出し
今回祝意の爲め十月五日より十五日迄冬着賣出安賣は元より又々突飛の大安賣瓦斯地丈に壹反に付特に金七拾五錢期日中販賣什餘與として福引仕候間何卒御來車の程奉待上候
景品目次
天、朱珍廣帶 壹本
地、濱縮緬小紋 壹反
人、御召縮緬 壹反
外に絹布及綿布數百反
福引券は金參圓毎に壹葉を呈し直に改札現品引換可申候但し福引券は無駄籤壹本も無之候
營口 木村呉服店（電八八番）

御卸 綿商
小袖綿 ふとん綿 中入綿 ま綿 たしまん
土井商店 大連市伊勢町六十七

森病院
營口永世街（電話一五五）
內科 外科 產婦人科 齒科（入院隨意）
院長 森矯

◎北海道木材各種 大角材挽材板類種類
◎樂器家具類金庫 上海製家具新荷着
材木部 商品部 山葉洋行
大連市信濃町 電話三〇七番

日本旅館
專業旅館並に高等下宿
營口新市街千代田街
店主 三野傳藏（電話一三〇）

新築二階建
生そば 精肉かしわ すきやき 天麩羅
鐵嶺西門外 日鐵

土木建築請負
煉瓦石、石灰、石材及び各種建築材料
營口 飯塚工程局（電話一六五）
各地出張所所在地 ●大連 ●鐵嶺 ●張臺子 ●鄭家店 ●長春 ●湯崗 ●千金寨 ●公主嶺 ●奉天 ●遼陽

和洋 諸紙卸商
大連市伊勢町四二号地 渡邊大連支店

專業旅館 東京樓
營口乘車乘船最好の位置 電話一八七
團隊四人樣以上は規定宿料外格安勉强割引可仕候高察御賄可申上候

旅館 大和館
永世街第三十四號（電話壹壹二番）
店主 前田九一郎

專業御旅館 清林館
開業以來の御高評に背かざる樣何事も益誠實に御客樣の御便利を計り極めて丁重に御扱ひ致御宿泊料の如きは出來得る限り勉强可仕候間何卒特別の御贔負偏に奉希上候敬白
營口新市街南本街（電話三〇一番）

營業科目
●建築用金物 ●右工煉瓦左官具 ●鉛引鉄線 ●ボールトカスガイ ●鍛工ブリツキ工具 ●土工用工具各種 ●護身用ピストル ●金庫ンカ各種 ●大工道具各種 ●便利一分間湯沸器
●鶴嘴シヨベル ●亞鉛板洋釘 ●スコツプ鳶口 ●ハンドボール万力 ●コオールダ ●鐵瓶鑛山工具 ●新式獵銃及附屬品 ●ストーブ各種 ●ロツプ及ブルツク ●ジヨレン鋤鍬
其他各種金物類廉價にて販賣仕候
營口永世街（電話二一壹番） 寶圓洋行

機器 鐵廠 川喜鐵工所
營口桜定門街 電話三五一番

會席御料理 鐵嶺西門外 醉花園

和洋完備 遼東ホテル
大連市信濃町 電話壹參一

一般患者ノ診療ニ應ス（往診入院隨意）
院長醫學士 松井基四郎
新市街寳來街 營口同仁醫院
電話番號 一七八番事務室 一七一番病室

會席御料理 御旅館 彌生
彌生倶樂部
新調の玉突臺及將棋盤等備付あり
鐵嶺西門外

物價

營口爲替相場 十月四日

正金銀行一覽拂(百圓ニ付)
- 內地 一〇三圓四分ノ一
- 天津 一〇三圓四分ノ三
- 上海 七〇兩四分ノ三
- 芝罘 一〇四圓四分ノ三
- 銀塊相場 三十片十六分ノ十三

同通貨相場

正隆銀行 受 拂
- 銀貨(百) 軍票 八八、八〇 九〇、三〇
- 小銀貨(百) 軍票 九六、四〇 九七、七〇
- 「ルーブル」ト軍票 九七、〇〇 九八、五〇
- 紫銀ト軍票 一〇三、三〇 一〇四、四〇

▲營口物價▼

●木材相場
- 杉丸太一丈(末口才) 五五
- 全二間(全) 六〇〇
- 全三間(全) 七〇〇
- 椴丸太一丈二間(全) 五〇〇
- 杉押角一丈二間(全) 六〇〇
- 杉板四分(一坪) 一、一〇〇
- 全六分(全) 一、三〇〇
- 全八分(全) 一、八〇〇
- 椴板六分(全) 一、二〇〇
- 全八分(全) 一、七〇〇
- 全正一寸(全) 二、一〇〇
- 縱板四分(一坪) 一、〇〇〇
- 全八分(全) 一、五〇〇
- 樺板全(全) 同 斷
- 杉大角物(一石) 七、〇〇〇
- 松大角(全) 六、五〇〇
- 仙臺檜(全) 六、〇〇〇
- 北海松(全) 五、六〇〇
- 杉貫大(十枚) 二、〇〇〇
- 全中(全) 二、〇〇〇
- 松垂(一肩) 一、七〇〇
- 全正角(全) 二、二〇〇

●注意 以上は舶物を標準としたる價格なり

(新市街盛進商行調)
- 稻正宗 四五入壹樽 一七、五〇
- 全 二五入全 一一、〇〇
- 全 二二入全 九、五〇
- スペシャー ルライト 四打箱 二二、五〇
- エビスビール 一函 九、三〇

食料品
- 醬油金京印一斗入一樽 三、七〇
- 全銀手二入 全 六、五〇
- 全 二入 全 五、五〇
- 孔雀印平の水 一函 四、五〇
- シャンピンサイダー 全 五、〇〇
- ジンジャエール 全 五、〇〇
- 防長上米 石 一四、〇〇
- 中國上白米 全 一三、五〇
- 朝鮮白米特等 全 一三、〇〇
- 全上 全 一二、〇〇
- 薪 正味十貫 一、三〇
- 極上本炭 全八〆 一、一〇
- 宇治玉露 斤 三、五〇
- 全高砂 全 三、〇〇
- 正喜撰 全 二、〇〇
- 烏龍茶上 全 九〇
- 全中 全 五〇
- 青柳 斤 一、二五
- 銀印ビスケット 一磅入打 四、五〇
- ハウスホールド 全 六、〇〇
- スポンヒー 全 七、〇〇
- ローズ 全 七、〇〇

●日本綿布相場(永順洋行)
兩
- 牡丹牌大尺布一疋 一、四〇
- 桃牌全 一、三五
- 寶字佛青布全 一、三五
- 全藍布全 一、二五
- 堅字佛青布全 一、三〇
- 全深藍布全 一、〇〇
- 花旗佛(麒麟印)廿碼 二、六〇
- 青布
- 東洋緞子頭等 一碼 三二
- 全(孔雀牌)二等 一碼 二五
- 東洋花手巾一ダース 三三
- 全毛手巾一ダース 五五

(新市街見本洋行)
- 美濃紙大印(一〆) 七、〇〇
- 全松印 六、五〇
- 全竹印 六、〇〇
- 全梅印 五、五〇
- 改良半紙大印 三、五〇
- 全金印 三、〇〇
- 全銀印 三、〇〇
- 全福印 二、四〇
- 生漉半紙上 四、〇〇
- 全並 三、五〇
- 六寸半切大印 三、〇〇
- 全金印 二、五〇
- 全福印 一、六〇

紙類
- 大七九紙生漉松印 一、七〇
- 全竹印 一、四〇
- 全梅印 一、二〇
- 塵紙生漉上 一、六〇
- 全中 一、五〇
- 障子紙(一束三百六十枚) 三、五〇
- 越前奉書(一束百八十枚) 一〇、〇〇
- 中ノ內(全) 四、五〇
- 四ノ內(全) 四、〇〇
- 仙花(一束六百枚) 四、八〇
- 美濃罫紙上(一千枚) 三、五〇
- 全並(全) 二、六〇
- 半紙罫紙上 一、五〇
- 全並 一、二〇
- 全半罫紙 一、〇〇
- 美濃表紙(百枚) 一、八〇
- 半紙表紙(全) 一、五〇
- 鳥の子(十斤に付) 七、〇〇
- 圖引用紙(百枚に付) 三、〇〇

●支那向窓張紙
- 二尺角一〆千五百廿枚 二一、〇〇
- 一尺八寸角全 九、五〇
- 一尺六寸角全 五、五〇
- 包紙百枚 二、〇〇
- スサ紙十貫目に付 三、〇〇

●洋紙類
- 油紙一枚に付 二〇
- 模造紙百斤に付 三二、〇〇
- 西六判鳳印 五五、〇〇
- 赤判 三三、〇〇
- 新聞用紙 三三、〇〇

●清商綿布綿糸綿花相場(○印は日本品)(一梱ニ付)兩
- 十六手藍牌線 一〇、三五
- ○十六手 九、七〇
- ○十六手關公 八、六〇
- 十六手老船牌全 八、二〇
- 彩船牌全 七、八〇
- 人担茶全 七、五〇
- 紅竹全 七、〇〇
- 大寶星全 六、七五
- 全燈塔全 六、七五
- 十六丈大小英花旗布(一匹ニ付) 四、二五
- ○全一號二甲全 四、〇五
- ○全三號二甲全 四、〇〇
- 全一號人馬球全 三、九五
- 全二號人馬球全 三、八五
- 獅球全 三、八〇
- 十五龍印打連布 四、九三
- 全老雙兎全 四、八〇
- 全大小英全 四、五八

●西陣冬之織物(木村呉服店)
着尺之部 自 至
- 特選御召縮緬 二五 四〇
- 紋織御召 二〇 三五
- 風通御召 二〇 三〇
- 絹縮御召 一八 三五
- 縦繻御召 一七 二五
- 縮緬無地一反 一〇 二〇
- 全友染全 一〇 二〇
- 白給子 一五 二五
- 帶地九寸全 一五 二〇
- 博多織 一〇 一五
- 厚板織 一三 二〇
- 黑及色朱子 一五 一八
- 本朱珍 八 一五
- 小柳色取合 帶地之部 一五
- 織之錦 五〇 一二〇
- 金襴織 二五 八〇
- 厚板織 二〇 五〇
- 吳朱珍 二〇 四〇
- 朱多珍 一〇 六〇
- 博多織 二〇 八〇
- 妙珍織 三〇 一五〇
- 黑及色朱子帶地男物七寸 一六 一五〇
- 博多織 三 一五
- 厚板織 五 二〇

●關東冬之織物
絹布之部
- 御召縮緬 四 一五
- 琥珀御召 三 七

綿布
- 全大熊星全 四、〇八
- 八丈豐裕炊布(百尺ニ付) 四、〇〇
- 同興隆大尺布 一、九二
- 永宇全 一、八〇
- 朱福源全 一、八六
- 廣大和全 一、八六
- 公大昌全 一、八六
- 和順長全 一、八〇
- 大裕清水布(二四ニ付) 九、三〇
- 益成全 八、三〇
- 九華棉花(百斤ニ付) 一、八八
- 雪錦全 一、八八
- 東元生全 一、八八
- 東京全 一、八六
- 西豐全 一、八五
- 鼎大全 一、八四
- 鴻記全 一、八六
- 朱耀全 一、八五

絹織物
- 伊勢崎銘仙 五 一五
- 結城紬 一七 三〇
- 綾糸織 一〇 二〇
- 好貴織 一〇 二〇
- 諸糸織 一〇 二〇
- 諸糸節織 一二 一八
- 色部內及一反 六 一〇
- 縞紋合
- 色根古屋全 五 一〇
- 羽二重全
- 本六丈紅絹全 四 一〇
- 綿之部
- 雙子織 二 四
- 綿結城 三 五
- 綿琥珀 二 五
- 綿風通 三 七

(新市街加藤洋行調)
- 菊正宗(三九入)一樽 一八、五〇
- 全瓶詰(四打入)一函 二四、五〇
- 全進物用一打入 四、二〇
- 札幌麥酒 全 九、五〇
- スペシャルライト 全 一一、五〇
- 旭麥酒 全
- 蜂印香竄葡萄酒 全 一九、五〇
- 三矢印シャンパン 全 三三、〇〇
- 孔雀印ヤノ水 全 四、五〇
- 全小(七打入) 全
- ベンサイダー 全 三六、五〇
- ヤマサ醬油 一樽 三、八〇
- 鷗印ソース(六ダース入) 一函 一三、〇〇
- 和ソース(六ダース入) 一函 七、五〇
- バタ(一磅罐百個入) 全 七五、〇〇
- グリーンピース(百個入) 全 一九、〇〇
- 筍(三十個入) 全 五、五〇
- 松茸(四ダース入) 全 九、〇〇
- 百合印蒲鉾(四ダース入) 全 一三、五〇
- 鮑(四ダース入) 全 一五、〇〇
- ビスケット(五十磅入) 全 一〇、五〇
- 旭奈良漬三斤全 九、五〇
- 鑵(四ダース入)
- 奈良漬 一樽 一四、〇〇
- 英國製中折帽 四、五〇 八、〇〇
- 黑山高帽子 四、〇〇 六、八〇
- 島打帽子 二、〇〇 二、八〇
- ラクダ毛防寒帽 一、五〇 三、〇〇
- ラッコ毛皮帽 (全) 三、〇〇
- スコッチ靴下 打 四、〇〇 三、〇〇
- 全長靴下 全 三、〇〇
- カシメン手袋 全 三、〇〇 八、〇〇
- スコッチ手袋 全 四、八〇
- 皮手袋 全 二、〇〇 四、〇〇
- 蜀乙製メリヤス上下組 三、五〇 六、〇〇
- 毛メリヤス全 四、五〇
- 全ジャケツ 全 五、〇〇
- 舶來毛メリヤス全 四、〇〇 六、〇〇
- 白毛布二枚續 一、二〇
- 色全 全 二、〇〇
- 舶來綿全摸樣入 三、五〇 六、〇〇
- ネル地膝掛 一、五〇
- ラクダ膝掛 一、七〇
- セル 二、五〇 五、〇〇
- 羽根蒲團 一、四〇
- 全繻子地 一、〇〇 八、〇〇
- クッション 二、〇〇 五、〇〇

●倉敷料(東和洋行)
錢
- 米大豆及雜穀 一ヶ月定 一俵 二五
- 豆粕 一枚 一五
- 麥粉 五十磅一袋 一五
- 綿花(支那大)八十斤內外 一俵 八〇
- 全(全中)百廿七斤內外全 六〇
- 全(全小)六十斤內外 全 四〇
- 全(亞米利加叉ハ孟買產壓搾)一立方呎 一五
- 綿糸(孟買支那日本四〇〇磅)一俵 一三〇
- 絹布 一立方呎 一五
- 絹織毛織麻織衣類全 二五
- 清酒 四斗樽一樽 二五
- 全 二斗樽全 一五
- 洋酒類箱入 一立方呎 三〇
- 全瓶詰 二〇

雜貨
- 全油酢類(二打入)一箱 八〇
- 全二斗入一樽 三〇
- 砂糖 一五〇斤入一袋 三〇
- 全一〇斤入一俵 三〇
- 昆布 大東一束 一〇
- 刻昆布 一箱 一五
- 海參干鮑鱶鰭明骨 一俵 一五
- 魚類漬物 四斗樽一樽 一〇
- 野菜 二斗樽全 三〇
- 全 二斗樽全
- △アンペラ廿五枚一卷 二五
- 麻袋五〇〇枚一綑 二〇
- マッチ 全 三〇
- マッチ安全 一箱 三〇
- △石油 全 三〇
- 硫黃 全
- 煙草 紙卷大全 八〇
- 全 小全 六〇
- 木炭 一俵 一〇
- △石炭 一噸 八〇
- △獸骨獸角獸蹄 一担 三〇
- 罐詰類 一立方呎 一五
- 板硝子 全 三〇
- 窓硝子百平方呎入一箱 三〇
- 陶器磁器類 一立方呎 三〇
- 紙類 全 三〇
- セメント 一樽 六〇
- 銅及亞鉛板 一箱 五〇
- 鉛亞鉛 一箱 四〇
- 亞鉛トタン板 一梱 二〇
- △ト板波形 全 三〇
- △全鐵類 一担 三〇
- 鐵管 一束 六〇
- 銑鐵 百斤一担 三〇
- 釘之類 小樽一樽 二〇
- 銃 一箱 三〇
- 一 右の外の種類は十本入一箱に付△印あるもの
- 一 右は野積とす

一 輸入手數料は本表の未濟品の保管料但し本表の保管料は陸揚後十日間は保管料を要せず
二 十五日間未滿の保管料は毎月從く管料を申受く
三 半ヶ月の分は五十分の一とす
四 高價品の保管料は毎月從價千分の五トス
五 此表に規定なき物品の保管料は其寸尺重量價格に基き之を定む
六 受荷物の內容並に狀態に對し當公司は其責に任ぜず
七 當公司は火災暴風洪水事變其他不可抗力の災厄に依り又は鼠喰蟲入氣候の變遷及物品の性質若くは荷造の不具に因り受けたる損害に對し賠償の責に任ぜず

▼大連物價▲

●洋酒（大山通二丁目 三宅合名會社大連支店）

品名	單位	價格
麒麟 大	四斗五升	一六、八〇〇
仝 牛	二斗	八、五〇〇
仝 瓶詰	四打入	一〇、五〇〇
札幌麥酒	仝	八、五〇〇
同 黑麥酒	仝	八、八〇〇
朝日麥酒	仝	八、八〇〇
同 スペーシャル	仝	一〇、五〇〇
蜂印葡萄酒	仝	一七、五〇〇
孔雀平野水	仝	四、五〇〇
ジンジャーエール	仝	五、〇〇〇
三ツ矢印サイダー	仝	五、〇〇〇
洋酒 シャンペン（一打）		三〇、〇〇〇方 七〇、〇〇〇迄
ウヰスキー		一一、〇〇〇〃 三五、〇〇〇〃
ブランデー		一〇、〇〇〇〃 四〇、〇〇〇〃
リキュール		一三、〇〇〇〃 三〇、〇〇〇〃
白葡萄		一三、〇〇〇〃 四五、〇〇〇〃
生葡萄		一四、〇〇〇〃 三五、〇〇〇〃
わし印ミタル四打箱		三、三〇〇〃

●世帶道具（信濃町増井商會）

品名	單位	價格
十四吋バケツ	壹打	三、六八〇
壹番	仝	三、一五〇
貳番	仝	二、七〇〇
參番	仝	二、四五〇
銑今呂 大	十個	六、〇〇〇
仝 中		五、五〇〇
つや消會席膳 尺一	十人	四、八〇〇
仝 尺二		六、〇〇〇
溜内揃仝 尺二		六、七〇〇
仝 物椀會甲 三八		一、四〇〇
吸物椀 四寸		一、八〇〇
仝 曙 四寸		一、八〇〇
仝 溜 四寸仙才		一、五〇〇
吸物椀蒔繪入	自	二、五〇〇
仝	至	八、〇〇〇
菓子椀蒔繪入	自	二、五〇〇
仝	至	八、〇〇〇
能代會席膳尺一 二枚入子十組		三、〇〇〇
仝 廣盆尺六（仝上）		九、〇〇〇
溜九寸丸盆（仝上）		二、七〇〇

●醬油（信濃町河又出張所）

品名	單位	價格
極上印	九升詰	三、五〇

●味噌

品名	單位	價格
白	廿貫入	八、二〇
赤	仝上	七、八〇

●油類及亞鉛板（各一斗罐二個入一函付）

品名	單位	價格
久美紋油（上）		六、三五〇
白 仝（中）		三、八〇〇
同 仝（下）		一、二〇〇
同 種油（上）		一、二〇〇
正 油		二、〇〇〇
鯨 油		二、五〇〇
桐 油		九、〇〇〇
荏 油		三、〇〇〇
スノー一番白ペンキ		三、八〇〇
同 二番 同		四、五〇〇
同 三番 同		三、〇〇〇
舶來 光明丹		三、三〇〇
ハバツクスボイル油		八、六〇〇
バーレル同		七、六〇〇
コールタール		二、二〇〇
〇スーヒンマシン油		二、〇〇〇
同 シリンドル油		四、〇〇〇
同 車軸油上		五、〇〇〇
同 同 並		二、六〇〇
亞鉛平板 八尺		三、三〇〇
同 波板 七尺		九、八〇〇
同 六尺		一、八〇〇

亞鉛板前ページ: 上 〃 二、三二〇／櫻 〃 二、九〇〇／龍 〃 二、七〇〇／錨 〃 二、五〇〇／菊 〃 二、三〇〇／藥 〃 二、一〇〇／滿口梅 〃 三、二〇〇／仝 竹 〃 二、九〇〇／仝 寶 〃 二、七〇〇／上 正二斗詰 六、三〇〇／櫻 〃 五、五〇〇／龍 〃 五、三〇〇／鶴 〃 四、七〇〇／鷹 〃 七、〇〇〇／藥 正三斗五升詰 六、七〇〇／菊 〃 六、三〇〇

●木材（秋田商會支店）

品名	單位	價格
杉四分板 無節	壹坪	一、五〇〇
仝 上	仝	一、二〇〇
杉六分板 並上	仝	一、五〇〇
仝 無節	仝	一、八〇〇
松壹寸參分板 並上	仝	三、三〇〇
松正壹寸板 並上	仝	二、二〇〇
松並壹寸板	仝	一、七五〇
松六分板	仝 耳揃	一、六五〇
松八分板	仝	一、一五〇
松壹寸參分板 無節		一、四五〇
檜八分板 並品		一、四〇〇
檜四分板		一、〇〇〇方
杉板割 貳間 正八分	壹坪	二、六〇〇迄
杉大貫	壹枚	二、五〇〇
杉中貫		二、八〇〇
杉小貫		二、四〇〇
杉木摺		二、〇〇〇
杉垂木 正寸六分角		二、五〇〇
仝 正寸八分角		二、六〇〇
仝 正寸二分角		二、三五〇
仝 正壹寸角	壹肩	二、一〇〇
松敷居 並品	仝	一、五〇〇
仝 正角	仝	一、六〇〇
松垂木 並品	仝	一、九〇〇
仝 正角	仝	一、五五〇
杉大角貳間尺〆	下	一、八五〇
杉挽小角貳間 一才	上	一〇、五〇〇
杉押小角 一才	上	七、五〇〇
松大角 貳間尺〆	中	九、五〇〇
北海道松角 仝		八、八〇〇
		六、五〇〇

●洋麵（但馬町二番地 日本製粉株式會社）

品名	單位	價格
寶船印	（各一袋）	二、三八
日本旗印		二、三三
ロシヤ印		二、三三

▼奉天物價▲（小賣相場）

品名	單位	價格
澤龜	一樽	金票 二七、五〇〇
		支那票 三〇、〇〇〇
蜂印葡萄酒	一箱	四、二〇〇
龜甲萬醬油	一樽	四、五〇〇
龜甲萬醬油 二號入	仝	三、六〇〇
仝 上	仝	九、〇〇〇
奈良漬	仝	六、五〇〇
東京澤庵	仝	六、五〇〇
うめぼし	仝	一、〇〇〇
紅生姜	仝	一、〇〇〇
花辣韮 三斗八升入	仝	一、四〇〇
白味噌 櫻井 十八貫入	金	八、八〇〇
赤味噌 仝 十九貫入		八、〇〇〇
金山寺味噌 七貫入		三、〇〇〇
椎茸 荒葉 十貫	日本銀	八〇、五〇〇
仝 上コミ 仝		七五、〇〇〇
淺草海苔	千枚	一〇、〇〇〇
鰹節（土佐）	十貫	八五、〇〇〇
仝（薩摩）	仝	八五、〇〇〇
干瓢	十貫	二〇、〇〇〇
片栗粉	仝	三、〇〇〇
白玉粉	仝	三、〇〇〇
晒飴	十貫	三、〇〇〇
高野豆腐 二百個入		六、五〇〇
燒麩	千個	一、〇〇〇
出シこんぶ	十貫	三〇、〇〇〇
出シ利尻こんぶ	十貫	二〇、〇〇〇
白髪こんぶ	十貫	九、〇〇〇
鳴門若芽	十貫	一〇、〇〇〇
寒天	千個入	二五、〇〇〇
片子煙	一斤	二、三〇〇
柳子煙		四〇〇
大麻	仝	三〇〇
青麻	一兩	一〇〇
綿糖	一斤	一〇〇
白油	仝	三〇〇
石油（エキス）	仝	二五〇
醬油（ビール）	一罐	三〇〇
朝日	一箱	一〇、〇〇〇
豆油	一斤	一四五
豆餅	一塊	一、〇〇〇
粳米	一斗	三、〇〇〇
小米	仝	一、〇〇〇
黍粱	仝	五〇〇
小麥	仝	八〇〇
大麥	仝	九〇〇
小豆	仝	一、〇〇〇
黒豆	仝	一、二〇〇
黄豆	仝	二、〇〇〇
平野水	仝	一、〇〇〇
日本白米	一俵	四八、〇〇〇

●穀物（毎斗）

品名	價格
元豆	六、二〇〇吊文
紅糧	三、二〇〇
小豆	五、二〇〇
吉豆	六、一〇〇
合豆	六、〇〇〇
芝麻	九、〇〇〇
谷子	二、八〇〇
小米	六、一〇〇
小麥	八、二〇〇
球米	四、〇〇〇
粳米	二一、八〇〇

●銀市（十月二日）

品名	價格
銀數	九吊九百四十文
現銀元	六吊〇八十文
票銀行	九吊八百二十文
現銀毎色	一百〇二十文
鈔票	十一元五毛
光緒頭帖	六元五毛
英洋	八元五毛
人洋	十三元九
龍洋	十八元
日本手票	十七元五毛
毎十圓二付	六吊四百文

▼鐵嶺物價▲

品名	價格
日本金票 賣	六元十毛
仝 買	七元五毛
軍票 賣	十一元八毛
仝 買	十二元三毛

●穀類

品名	單位	價格
白米 防長一等	一石	三三、〇〇〇
仝 二等	仝	三一、〇〇〇
朝鮮 特等	仝	二〇、五〇〇
仝 一等	仝	二〇、〇〇〇
仝 二等	仝	一九、五〇〇
仝 三等	仝	一七、〇〇〇
隱元豆	仝	一六、〇〇〇
黒豆	仝	一三、〇〇〇
小豆	仝	一六、〇〇〇
高粱	一担	二、一〇〇
包米	仝	三、一五〇
紅小豆	仝	二、八〇〇
白小豆	仝	三、二五〇
黄大豆	仝	三、七〇〇
青入豆	仝	三、六〇〇
豆粕	一斤	一、四五〇
小豆粕	百斤	二、八五〇

●味噌

品名	單位	價格
白味噌	十八貫入十樽	七〇、〇〇〇
赤仝	仝	七〇、〇〇〇
金山寺仝	五貫入仝	四〇、〇〇〇

●漬物

品名	單位	價格
奈良漬	八貫入十樽	一四、〇〇〇
大根味噌漬	十三貫入仝	九、〇〇〇
東京澤尾漬	仝	四八、〇〇〇
卷梅干	二貫二百入仝	二〇、〇〇〇
赤梅干	十二貫入仝	四七、〇〇〇
紅生姜	仝	二四、五〇〇
花辣韮瓶詰	四打入	六、五〇〇
白辣韮	一嚀	七、〇〇〇
保萬齡漬 一斤入	四打	九、〇〇〇
仝 半斤入	十打	三、〇〇〇
時雨煮 葉唐辛子 一斤入	四打	[illegible]

●醬油

品名	單位	價格
九升入十樽		九、五〇〇
國運	仝	三七、五〇〇
萬歲	仝	三五、五〇〇
平和	仝	三三、〇〇〇
來福	仝	二九、〇〇〇
全	仝	二五、五〇〇
鹽甲印	仝	二四、〇〇〇
山サ印	仝	二三、〇〇〇
菊玉印	一斗入	二二、五〇〇
上一印	仝	四、二〇〇
東香印	仝	四、一〇〇
甲子印	仝	三、二〇〇
	仝	三、三〇〇
	仝	三、二八〇

●清酒

品名	單位	價格
鶴印	三斗五升入	六、七〇〇
仝	一斗入	二、五〇〇
白鶴印	四斗入	六、二〇〇
百合正宗	四斗三升	一七、二〇〇
澤の鶴	四斗五升	一七、三〇〇
菊正宗	三斗九升	一九、三〇〇
白鹿	仝	一七、四〇〇

●麥酒及洋酒

品名	單位	價格
旭ビール	四打一箱	一一、八〇〇
仝 スペシャル	仝	一四、〇〇〇
札幌ビール	仝	一一、五〇〇
恵比壽ビール	仝	一三、〇〇〇
キリンビール	仝	一三、五〇〇
スタンダード	仝	一五、〇〇〇
蜂印香竄葡萄酒	仝	二二、五〇〇
白葡萄酒	一打入	一九、五〇〇
生葡萄酒	仝	一八、五〇〇

●飲料水

品名	單位	價格
孔雀印平野水	四打入	五、八〇〇
番引炭酸水	仝	五、八〇〇
シャンペンサイダー	仝	六、五〇〇
三ツ矢印サイダー	仝	六、五〇〇
イダー	仝	六、五〇〇
ジンジャー	仝	六、五〇〇

●罐詰類

品名	單位	價格
大鮑 ボイルド	四打入	一七、五〇〇
サーモン	仝	八、八〇〇
松茸	仝	九、五〇〇
筍 味附	仝	五、三〇〇
福神漬	仝	七、五〇〇
お多福豆	仝	六、五〇〇
アナゴ蒲燒	八打入	一五、〇〇〇
鯛味噌	四打入	五、五〇〇
海苔佃煮	十打入	一〇、五〇〇
カレー粉	八打	二二、八〇〇
鷲印ミルク	四打	一四、七〇〇

●乾物

品名	單位	價格
淺草海苔	十帖	一、四〇〇
椎茸	十貫目	七五、〇〇〇
干瓢	仝	二八、五〇〇
こぶん上		一五、三〇〇

●茶

品名	單位	價格
正喜撰特別上	一斤入	九五〇
仝	四半斤入	二八〇
入川柳印	半斤入	一七〇

●洋麵

品名	單位	價格
寶船印	袋ニ付	二、五五
童印	仝	二、五五
東郷印	仝	二、四五
菊水印	仝	二、四〇
恵比壽印	仝	二、四〇
麒印	仝	二、四五

▼長春物價▲

品名	單位	價格
入豆	一石	吊文 一三、〇〇〇
小麥	仝	三〇、〇〇〇
豆粕	廿斤物	一、七五〇
硬米	一石	八〇、〇〇〇
鹽	一百斤	六、五〇〇
高粱	一石	一三、〇〇〇
豆油	仝	三、〇〇〇
黒砂糖	仝	三、〇〇〇
白砂糖上	仝	三、〇〇〇
米		二四、〇〇〇（軍票）
酒 白鶴		二二、〇〇〇
味噌 澤の鶴	十八貫	二二、〇〇〇
醬油 龜甲萬 來福		一〇、〇〇〇
石油 三星印	一箱	三、二〇〇
石炭 甲万印		五、二〇〇
蠟燭	一箱	一〇、五〇〇
燐寸	一噸	四、五〇〇
綿布 白	一匹	五、五〇〇
白麵 （ハルビン製一袋百四十五斤入）		吊 三、〇〇〇 文 一、四〇〇
仝 （米國製一袋四十斤入）		七、五〇〇
小豆	一石	三〇、〇〇〇
麻	一斤	六五、〇〇〇
粟	一百石	二八、〇〇〇
綿	一百斤	九〇、〇〇〇
仝上		一〇〇、〇〇〇
毛頭紙 上	一刀百九十枚	二、三〇〇
葉烟草 上	百斤	八四、〇〇〇
仝 並	仝	六〇、〇〇〇
數嶋	廿入	一、一四八（洋）
大和	仝	一、一八
朝日	仝	九四
ヒコーク	五〇入一箱	一、五八
ビール	一箱	二二、〇〇〇（軍票）
軍票	一圓 官帖	二吊九百三十文
金票	仝	二吊八百文
軍票	一圓 洋錢	一圓十二錢
金票	仝	一圓〇七錢

●勞働者賃銀一般（一日勞銀）

職	日本人	支那人
疊職	二、五〇〇圓	八〇〇圓
石工	三、二〇〇	一、二〇〇
左官	二、〇〇〇	一、八〇〇
大工	二、五〇〇	八〇〇
木挽	二、五〇〇	九〇〇
鍛冶職	四、二〇〇	一、二〇〇
煉化職	二、五〇〇	八〇〇
指物職	二、七〇〇	八〇〇
桶職	二、〇〇〇	二〇〇
ペンキ職	二、五〇〇	一、七〇〇